



※ □内は、ロットNo.表示位置を示します。

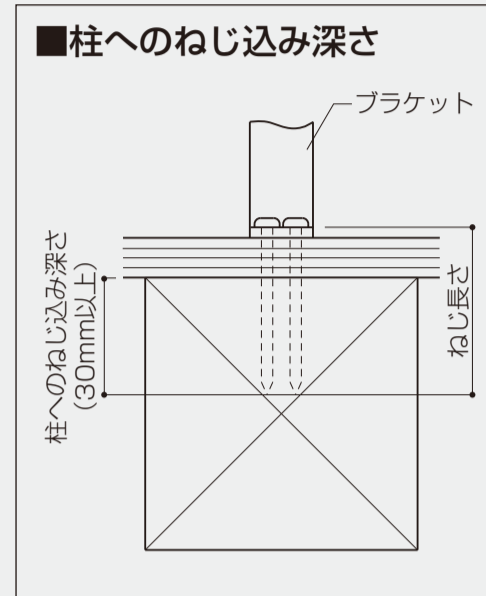
■施工される方へのお願い

▲警告 …取付けを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

- 手すりの落下・転落防止のため、下記事項を厳守してください。
- ・当製品は木造躯体専用です。ALC・RC等の躯体には使用しないでください。
- ・取付け前に必ず、柱・間柱・窓台の位置・寸法、外壁材・下地材の厚さを建築図面で確認してください。
- ・ブラケットは必ず柱に、指定のねじで取り付けてください。柱のない部分には取り付けてください。
- ・柱へのねじ込み深さは30mm以上確保してください。
- ・壁厚が30mm以上の場合は、厚壁用のねじを使用してください。
- ・強度・防錆性を保つため、必ず指定のブラケット・ねじ類を、指定の数量使用してください。
- ・外壁のバカ穴は、柱まであけないでください。
- ・花台の積載荷重が1.8mあたり60kgを超えないようにしてください。
- ・躯体に下穴をあける場合は、ねじの外れ防止のため、φ6のねじにはφ4.5、φ4のねじにはφ3のドリルを使用してください。
- ・手すり取付け後、笠木をゆすってガタツキのないことを確認してください。

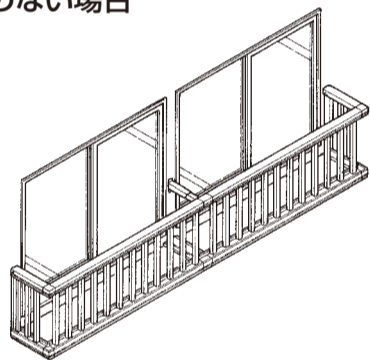


▲注意

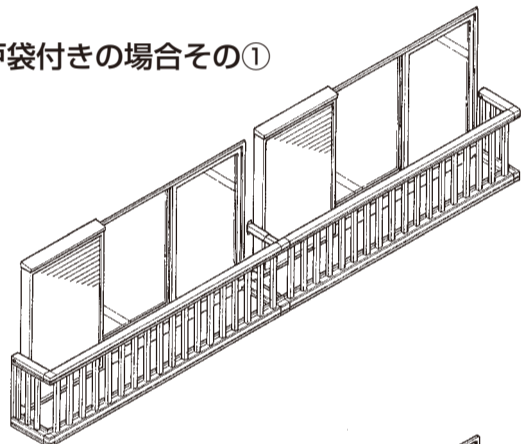
- ねじ部からの漏水防止のため、躯体の下穴には必ずコーキング材を充てんしてください。

■サッシ枠との組み合わせ ※側面パネルは、戸袋の外側に取付けます。

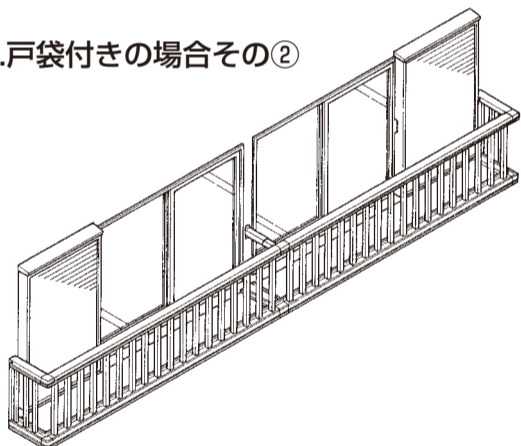
1. 戸袋のない場合



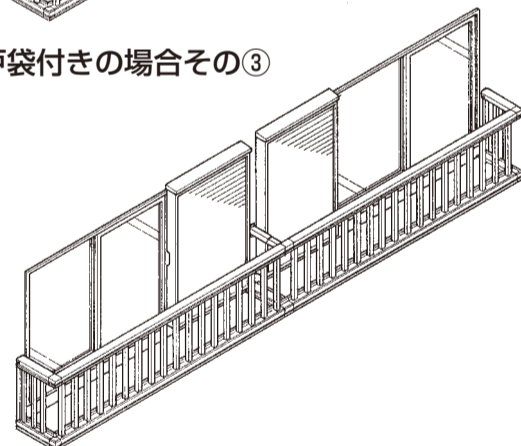
2. 戸袋付きの場合その①



3. 戸袋付きの場合その②

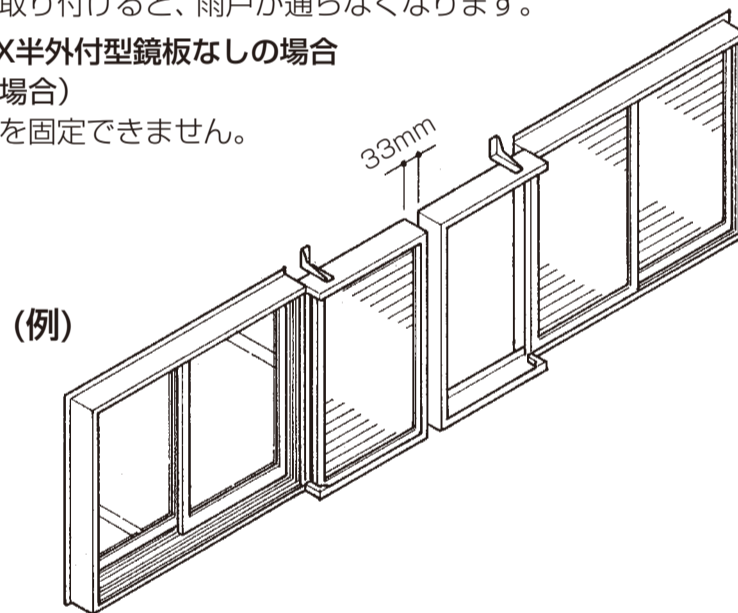


4. 戸袋付きの場合その③



■取付けられない場合

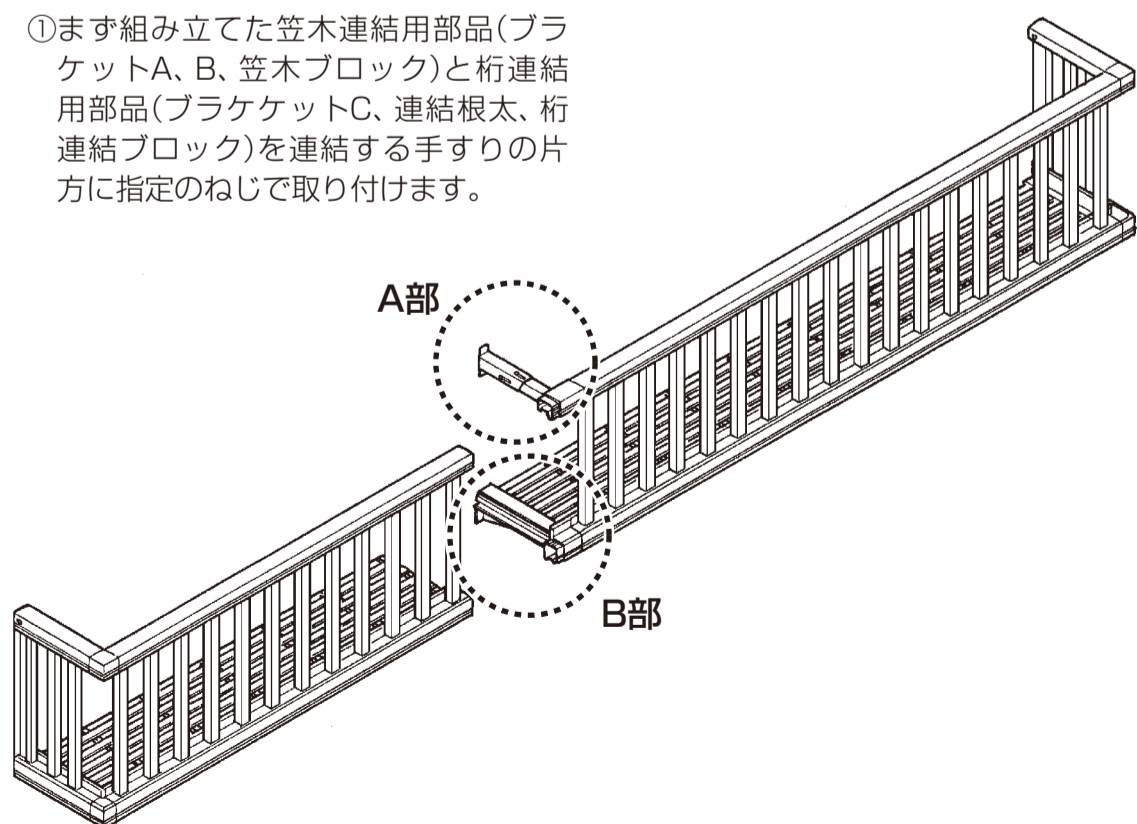
1. 雨戸サッシアトモス・CX外付型
側面パネル固定ねじが、柱へ完全に取り付けられません。
2. 雨戸サッシアトモス・CX用連窓戸袋が付いている場合
手すりの連結ブロックを取り付けると、雨戸が通らなくなります。
3. 雨戸サッシアトモス・CX半外付型鏡板なしの場合
(戸袋を並べて取り付けた場合)
手すりの連結ブラケットを固定できません。
(40mm以上必要)



■取付け方法

1 連結部品の取付け

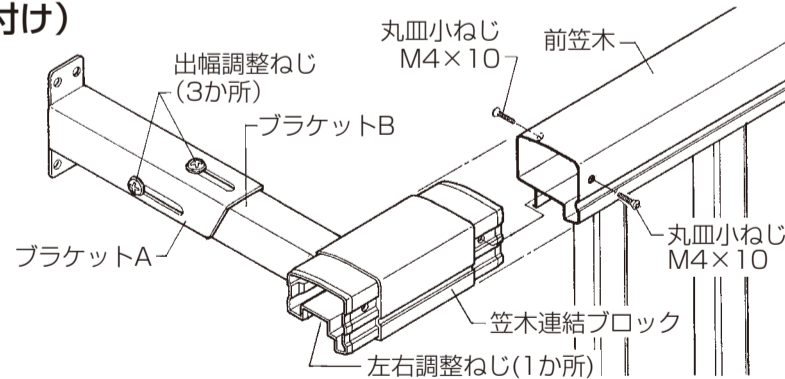
①まず組み立てた笠木連結用部品(ブラケットA、B、笠木ブロック)と桁連結用部品(ブラケットC、連結根太、桁連結ブロック)を連結する手すりの片方に指定のねじで取り付けます。



■A部詳細

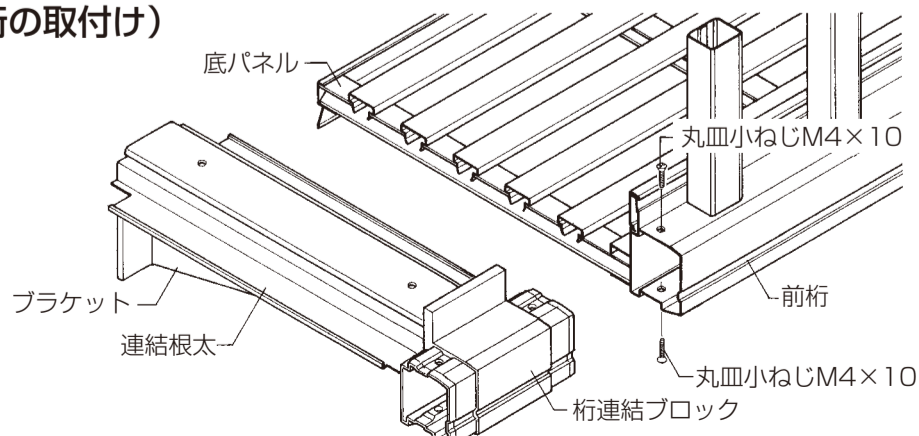
(笠木連結用部品と笠木の取付け)

●ブラケットA、Bの出幅調整ねじと左右調整ねじは、仮固定状態にしておきます。

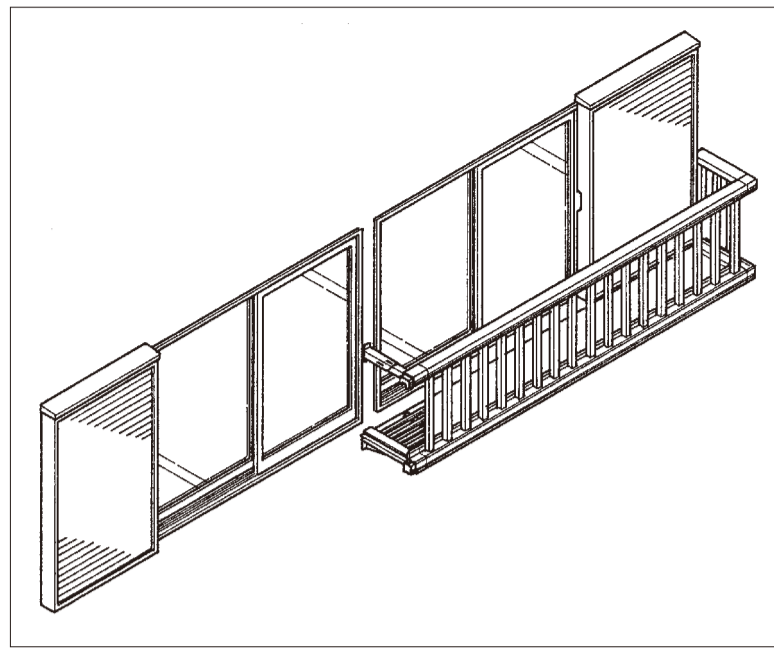


■B部詳細

(桁連結用部品と桁の取付け)

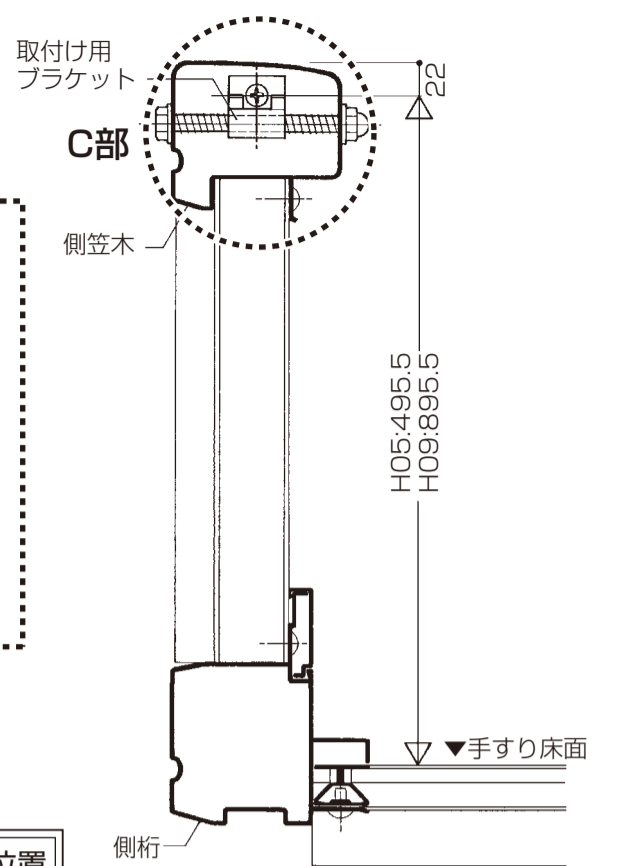
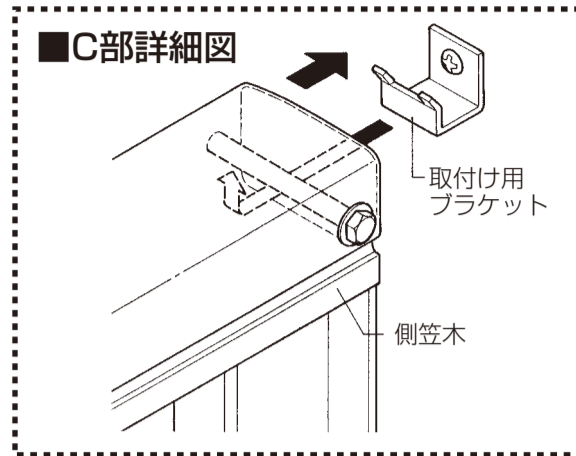


2 手すり本体の取付け



※躯体側の下穴には、必ずコーキング材を充てんした後、ねじ止めしてください。
 ①手すり本体の取付け位置を決め、躯体に下穴をあけます。コーキング材を充てんした後、取付け用ブラケットをトラスタッピンねじφ4×70で取り付けます。(位置出しは下表を参考にしてください。)

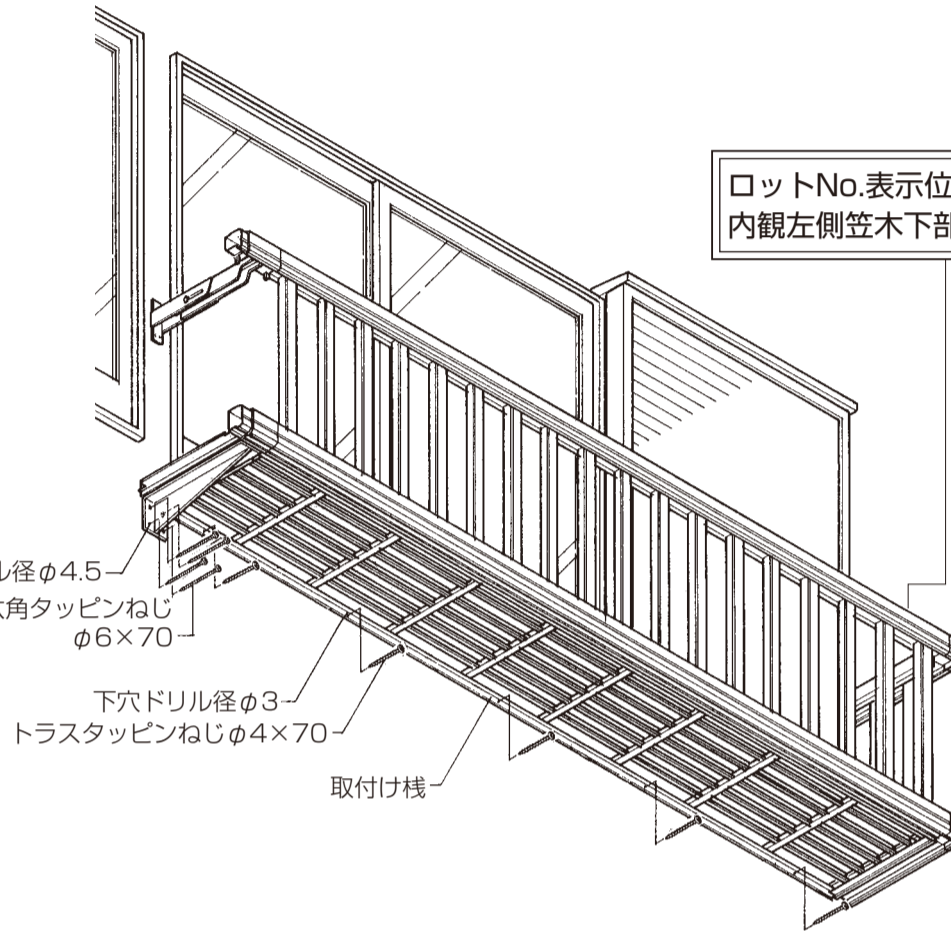
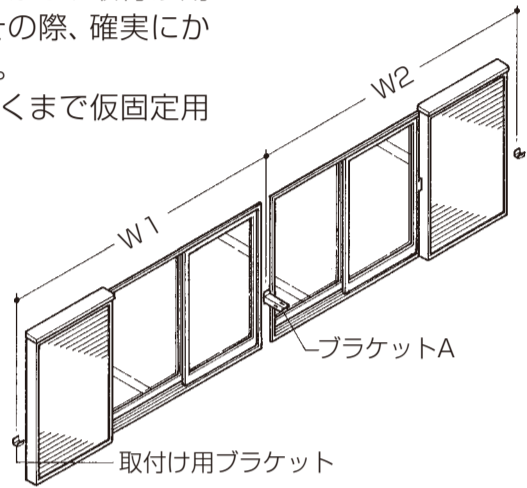
	呼称	W1,W2(mm)
関東間	186	1837
	277	2747
	368	3657
関西間	206	2032
	301	2982
	397	3942
特注		W-31



②連結部品を固定した方の手すりから、取付け用ブラケットに引っかけます。その際、確実にかかっているか確認してください。

※この取付け用ブラケットは、あくまで仮固定用のものです。この状態で放置すると非常に危険ですのでただちに本固定してください。

③側面パネルを躯体に固定します。次に取付け枠及び桁連結用部品のブラケットCをねじ止めします。(このとき笠木連結用部品のブラケットAと躯体は、固定しないでください。)

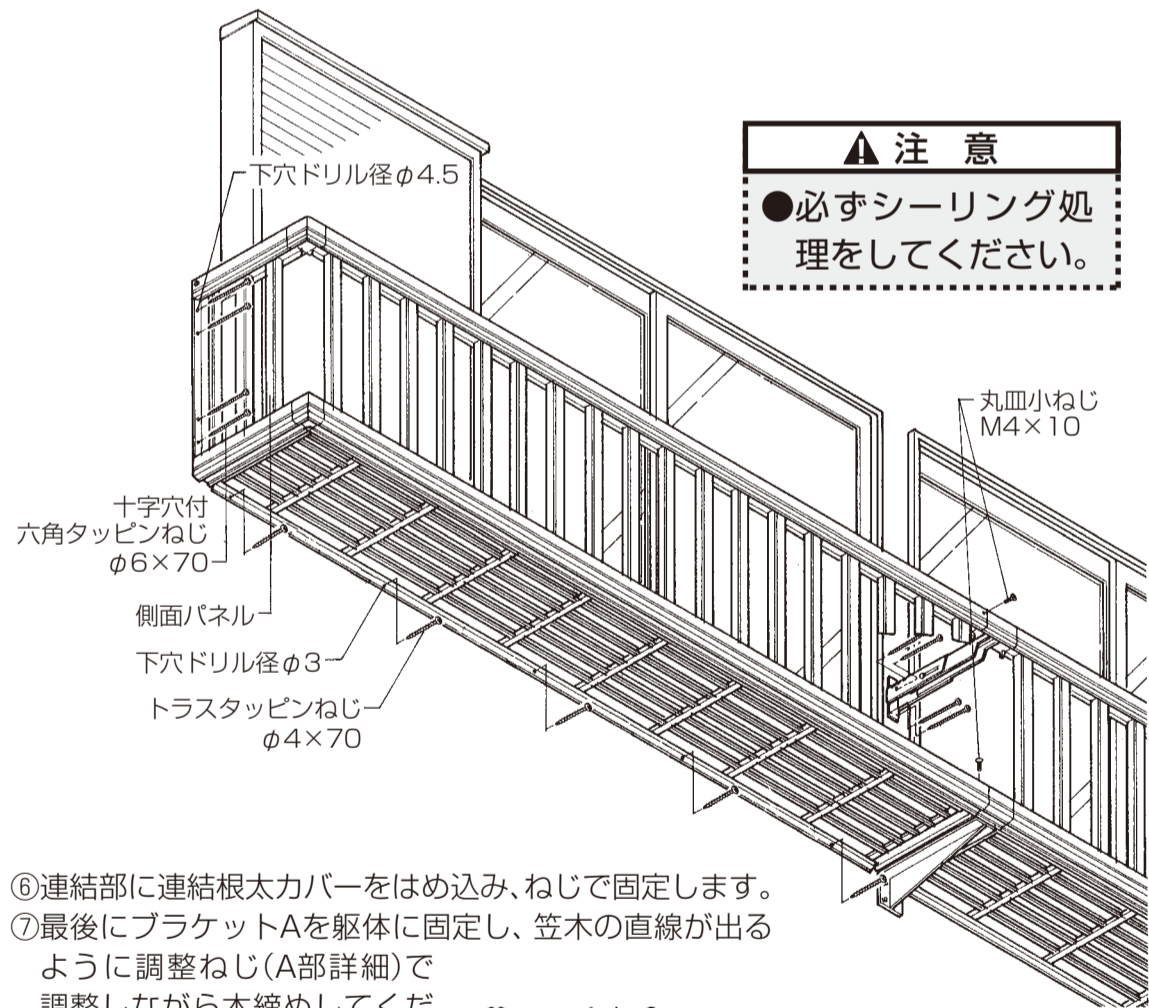


ロットNo.表示位置
内観左側笠木下部

▲ 注意
●必ずシーリング処理をしてください。

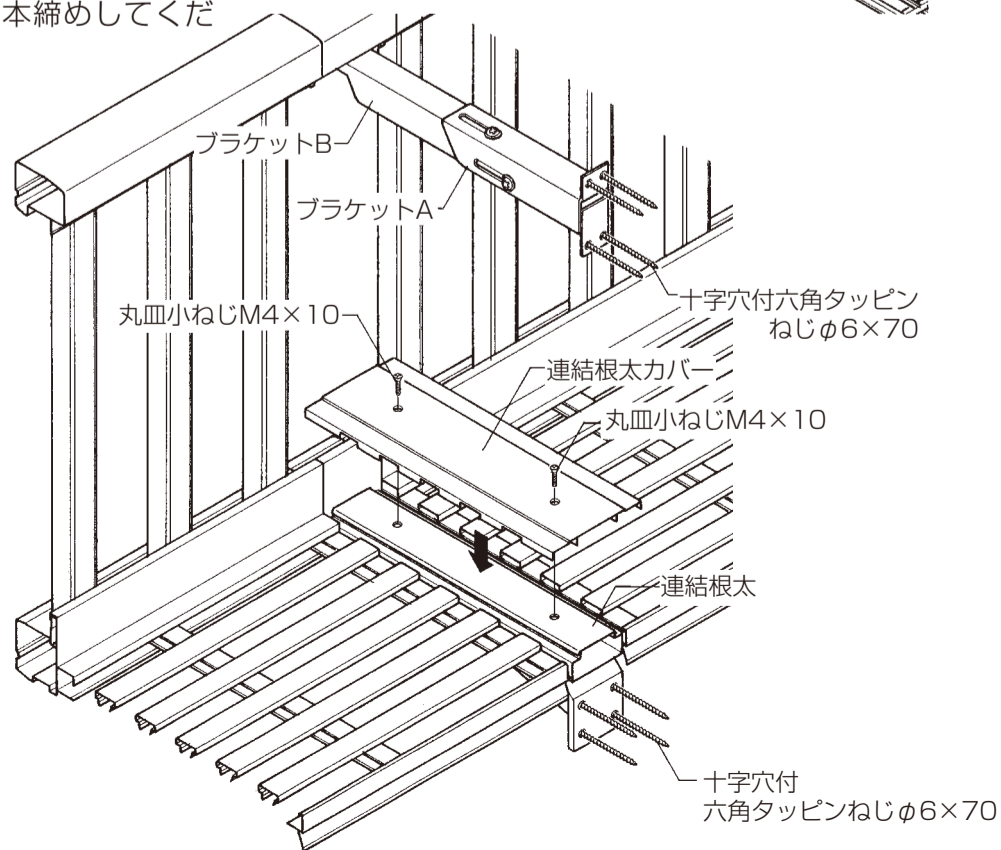
④もう一方の手すりを取り付けてある手すりの上下の連結ブロックに差し込み、同時に取付け用ブラケットに引っかけます。その際、底パネルを連結根太のフィンの上にのせてください。次に、上下連結ブロックと笠木・桁をそれぞれねじ止めします。

⑤手すりの取付け位置を決め、下穴をあけます。まず側面パネルを躯体に固定し、次に取付け枠をねじ止めします。



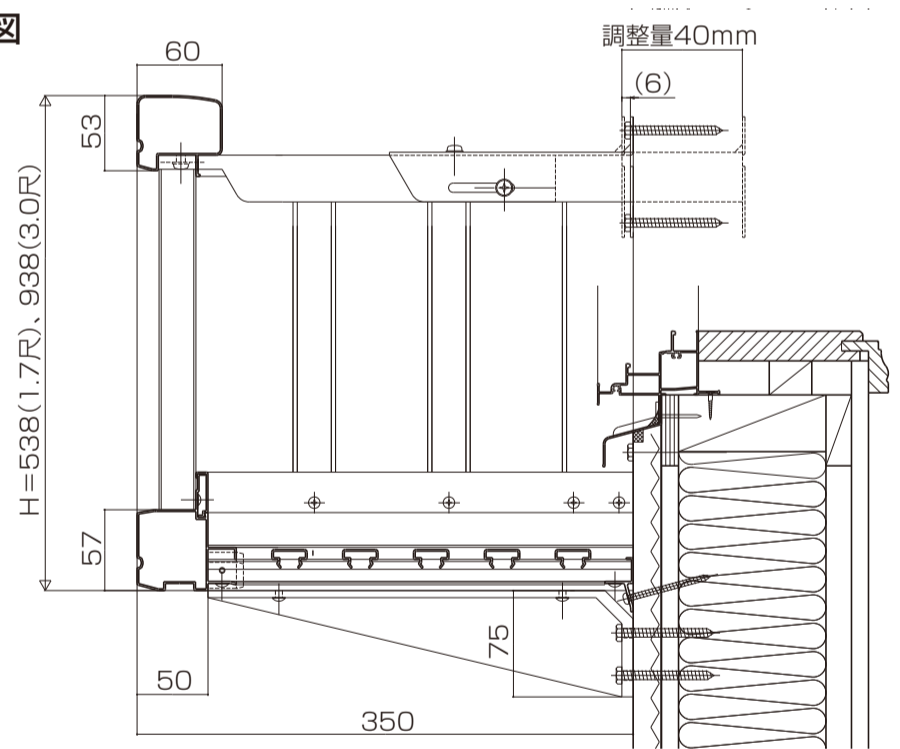
▲ 注意
●必ずシーリング処理をしてください。

⑥連結部に連結根太カバーをはめ込み、ねじで固定します。
 ⑦最後にブラケットAを躯体に固定し、笠木の直線が出るように調整ねじ(A部詳細)で調整しながら本締めしてください。



参考納まり図

●縦断面図



●横断面図

